

北九州市立大学地域共生教育センター（421Lab.）

# FULL

[フル]

2022年度

Vol.15

地域につながる。自分をひろげる。



## 421Lab.学生運営スタッフは3つのグループで活動しています。

### プロジェクト支援グループ

プロジェクト支援グループでは、421Lab.所属の学生プロジェクトが活動しやすいようにサポートをしています。2021年度はスタートアップ研修や振り返り研修などを行いました。学生がこの研修に参加することで、自分が地域活動を行う目的や目指すべき姿を確立することを目的としています。また、マナー講座のように、プロジェクト生に必要な知識や技術を指導・提供するのも私たちの活動の一つです。



### 大学・地域支援グループ

大学・地域支援グループでは、様々な地域活動を通して多世代交流を図ったり大学内外で行われるイベントを企画したりするなど、社会で必要とされるコミュニケーション力や企画運営能力などを学ぶことができます。また、学内のイベントでは学生を対象に421Lab.の活動紹介なども行っています。



### Lab.支援グループ

421Lab.の運営を支え、421Lab.の発展のために尽力するグループです。主に、広報物や研修、動画を通して421Lab.の活動発信・魅力発信を行っています。2021年度は、新たにPV動画制作やガイドブック作成も行き、活動の幅を広げています。



## SDGsとは？

「持続可能な開発目標」。簡単に言うと「世界中にある環境問題・差別・貧困・人権問題といった課題を、世界のみんなで2030年までに解決していこう」という計画・目標のことです。2015年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられました。

2030年を達成年限とし、17の目標と169のターゲットから構成されています。



### 421Lab.+TAP SDGs Community プロジェクト

SDGsを通じた場づくりを学生の手で！



- おもな活動場所  
北九州市立大学、  
+TAP北九州  
(セントシティ7階)
- 昨年度参加人数 11人
- 活動頻度  
2021年度は金曜日  
4限にミーティングを  
行いました。

#### こんな人におすすめ！

- SDGsに興味がある人
- 経営(カフェ)や企画に関心のある人
- 動画収録や編集、配信に興味がある人

SDGsとは、持続可能な社会を築くために2030年までに達成すべき17個の開発目標のことで、今世界中で様々な取り組みが行われています。本プロジェクトでは、SDGsを推進することを目的として、北九州市内の様々な方々と連携しながらSDGsに関連する活動を行っています。また、421Lab.に所属している他の学生プロジェクトとも協力し、活動紹介やSDGsに関する対談動画などを配信しています。

## TFT×KitaQ univ.プロジェクト

ランチから始める国際貢献!



### こんな人におすすめ!

- 美味しい学食を食べたが気軽に国際貢献をしたい人
- 身近な「食」を通して、国際的な飢餓問題について考えたい人
- ポスター作成やSNSを通して、国際問題やTFT(Table For Two)活動に関する広報活動してみたい人

世界では、成人の8人に1人が肥満と言われ、深刻化しているのに対して、今日では新型コロナウイルス感染症の影響により、飢餓が劇的に悪化し、世界人口の約10分の1、最大で8億1100万人が栄養不足に陥ると推定されています。その中には栄養失調によって十分に発育できない子どもたちが大勢います。私たちはこのような世界の不均衡を是正するために、学食でTFT(Table For Two)メニューを販売し、一食につき売上の20円を発展途上国の子どものための1食分の寄付金として届ける活動を主軸として行っています。

- おもな活動場所  
北九州市立大学  
北方キャンパス 北方食堂
- 昨年度参加人数  
12人
- 活動頻度  
月に4時間程度、毎週金曜日の昼休みにミーティングをしています。また、企画を予定している時は、ミーティング外の活動も行います。

## 『食』から学ぼうプロジェクト

楽しく食と健康の大切さを発信



### こんな人におすすめ!

- 料理が好きな人
- 子どもと触れ合うことが好きな人
- 食べることが好きな人

私たちは、地域社会とのつながりを大切に、食と健康について自発的に学習をし、学習成果は子どもたちや同世代の学生に伝えています。主に子ども食堂における昼食献立作りと調理、子どもたちのお世話、地域の小学校における食・健康・環境学習支援、学内外における調理実習・学習慣改善教室に参加しています。その他にも飲酒疑似体験イベントの企画運営、お弁当作りの推進を行っています。

- おもな活動場所  
市民センター、  
各自宅のキッチン、  
421Lab.
- 昨年度参加人数  
11人
- 活動頻度  
・月1回程度で企画やイベントを行います。(調理実習、食育ボランティアなど)  
・毎週1回昼休みにミーティングを行います。

## 地域クリーンアッププロジェクト

楽しさとつながりを大切に、at homeな存在へ、人の想いを形にする



### こんな人におすすめ!

- 他学部学科や社会人、中高生など様々な人と関わりを持ちたい人
- 活動理念に少しでも共感してくれた方
- 自分の中でやりたい事があるが、表現することが苦手な方

クリーンアップPJでは、楽しさと繋がりを大切に、また参加したくなるような空間を、また人の思いに寄り添い、どんな思いでも皆で受け入れ、形にしていきたいと思っています!!  
主な活動はゴミ拾い清掃ですが、これまで地域の人たちと一緒にサンタ仮装清掃をしたり、花見清掃なども行ってきました!ゴミ拾いに限らず、抱えている思いに本当に向き合い、実現したいと思っています!

- おもな活動場所  
北方市民センター
- 昨年度参加人数 29人
- 活動頻度  
第2、第4 水曜日、  
金曜日の17:30から約  
1時間ゴミ拾い活動

## 青空学プロジェクト

『環境』から考える北九州市の今と未来



### こんな人におすすめ!

- 環境問題に興味がある
- オリジナリティある活動がしてみたい
- 地域に出て活動したい

私たちは北九州市の環境問題に対し、学生の私たちができるアプローチを考え、実践することで解決への糸口を探る活動を行っています。今年度は「ゴミ問題と生態系」に着目し、私たちの暮らしから出るゴミが生態系にどのような影響を与えているのかなどを探究しています。北九州市および地球の未来に目を向け、公衆・SDGsなどの分野から「今」を考えることを通して「環境を想う眼」を養っています。

- おもな活動場所  
北九州市立大学、  
北九州市環境ミュージアム
- 昨年度参加人数 8人
- 活動頻度  
月2~4回、1コマ程度の  
定例会  
※その他必要に応じて  
活動

## 421Lab.いぬねこプロジェクト

「ワンちゃん、ネコちゃんは我がが守る」



### こんな人におすすめ!

- 動物が好きな人
- 福祉や動物関係に興味がある人

私たちの活動の社会的背景は、犬猫の殺処分問題の解決に向けて、NPO法人や北九州市役所の方が様々な取り組みを行っているにも関わらず、殺処分される犬猫が存在しているという現状があります。この現状に私たちは「学生としてできるアプローチ」ということに重きを置き、受け入れ先の方々と一緒に犬猫を取り巻く問題に関して考え、学び、発信するという活動を行っています。

- おもな活動場所  
ドッグカフェ「KATANODA」、  
北九州市動物愛護センター
- 昨年度参加人数 19人
- 活動頻度  
● 定例ミーティング(コアメンバーのみ)…毎週水曜日3限  
● ドッグカフェ「KATANODA」でのお散歩ボランティア…  
土日・祝日を除いた毎日の定例活動  
● 勉強会(全員参加)…  
半年に2回  
● 愛護センター・殺手への訪問…不定期

## まち美化魅力向上プロジェクト Clear

「Clear」な活動でまちの魅力UP



### こんな人におすすめ!

- いろいろな方法で北九州市を盛り上げたい人
- 地域の課題解決に興味のある人
- 実際に企業さんと協力して企画から実行までをしてみたい人

北九州の魅力清掃や地域との活動を通して向上させることを目的としたプロジェクトです。このプロジェクトの特徴は、地元企業である不動産会社株式会社ミニク様と協力して活動しているところです。今年度は対面ミーティングもできるようになり三萩野バス停などで共同清掃やピブス作成などをミニク様と共同で行いました。プロジェクトが始まり2年の新しいプロジェクトなので、様々な企画に手探りながら挑戦しています。

- おもな活動場所  
三萩野バス停、  
2号館1階421Lab.
- 昨年度参加人数 9人
- 活動頻度  
月に8時間程度、  
毎週水曜日など

## 子ども食堂応援プロジェクト

～子どもたちの孤食を防ぎ、第3の居場所づくりを～



### こんな人におすすめ!

- 子どもが大好き!
- 何か新しいことを始めたいと思っている人
- コミュニケーション力、企画力など様々な学びを得て成長したい人

子ども食堂応援プロジェクトは、北九州市内の子ども食堂の活動を応援し、孤食を防ぎ、子どもたちが安心して過ごすことができる第3の居場所づくりを目的として立ち上げたプロジェクトです。現在は、市内の6つの子ども食堂と連携して活動を行っています。活動の中でイベントの企画や運営をしたり、子どもたちと遊んだりと普段の大学生活ではできない経験を得ることができます。

### ●おもな活動場所

市民センター(尾倉、日明、城野、小倉中央、大里南、足立)

### ●昨年度参加人数

65人

### ●活動頻度

- ・月に3～6時間程度(一回の参加が約3時間程度)
- ・2週間に一回程度(月一の食堂もある)
- ・火、水、木、金曜日など(場所によって異なる)

## 桜丘小学校学習支援プロジェクト

実際の教育現場で子どもたちの学習をサポート!



### こんな人におすすめ!

- 教員免許の取得を目指している人や将来教員になりたい人
- 子どもが好きな人 ● やりがいのある活動がしたい人

小倉北区の桜丘小学校や富野小学校にて、児童の学習支援を行っています。担任の先生と一緒に、通常行われている授業に参加し、「AT-(アシスタント・ティーチャー)」として、子どもたちをサポートする役割を担っています。その他の活動として、特別支援学級での生活支援や、小学生対象の「キャリア教育」として、将来の仕事や生活などに関する特別授業を行っています。

### ●おもな活動場所

北九州市立桜丘小学校

### ●昨年度参加人数

5人

### ●活動頻度

月に9時間～10時間  
※学生の授業スケジュールに合わせて活動日の調整を行うため、都合の良い平日の曜日、時間帯に活動します。

# PROJECT 2022 地域活動プロジェクト紹介



## 421Lab.学生運営スタッフ

地域と学生の架け橋



### こんな人におすすめ!

- 企画の運営に興味がある人 ● ボランティアに興味がある人
- 様々な経験を積んでみたい人

地域共生教育センター(通称:421Lab.)は、学生の力を必要とする地域と、地域活動を行いたい学生をつなぐ架け橋のような役割を担う教育機関です。学生運営スタッフは、北九州市立大学の全ての学部・学群に対して地域活動を通して貴重な学びを得てもらうために、「地域活動の魅力発信」と「活動しやすい環境を整える」という2つの目的のもと、どうすれば学生や地域のニーズに応えることができるかを考えながら、日々活動を行っています。

### ●おもな活動場所

北九州市立大学 2号館1階  
地域共生教育センター  
(421Lab.)  
および市内各所

### ●昨年度参加人数

31人

### ●活動頻度

全体会:毎月1回  
(月末・水曜3限)  
その他各班での活動:  
週1程度

## 「ブンガクの街北九州」発信プロジェクト

日常に文学を!



### こんな人におすすめ!

- 北九州市での地域に根ざした活動に興味がある人
- 文学作品や小説、映画などが好きな人
- 北九州や文学についてこれから学んでみたい人

私たちプロジェクトは、「北九州に『文学』という新しいブランドを作ろう」というコンセプトのもと、北九州を盛り上げるために活動をしています。実は、北九州にゆかりのある文学作品はたくさんあります。それらの魅力や北九州の特色を伝えられるように、市役所や北九州文学サロンの皆様と協力しながら、地域に根ざした活動を日々、行っています。



## 平和の駅運動プロジェクト

学生から発信する「平和」



### こんな人におすすめ!

- 平和活動に興味がある人 ● 企画を一から発案・企画・運営してみたい人
- 大学でかけがえのない仲間と出会いたい人

平和の駅運動プロジェクトは戦争の記憶の風化と、それに伴った平和への意識の希薄化を課題としており、若者を中心とした「戦争の記憶風化の防止」「平和の再考」そして「核廃絶」を目標として活動をしている団体です。具体的には北九州市内の学校に赴いて平和学習をしたり、北九州市や長崎市の各地で小倉祇園太鼓を演奏し、音楽を通して広く市民と平和を考える場を共有する活動をしています。

## 421lab.わくわくキッズプロジェクト

「楽しく学べる遊び」を通じた特別な時間作りを!



こんな人におすすめ!

- 子どもと接するのが好きな人
- 工作が好き・得意な人
- 色んな人と一緒に活動したい人

共働きやひとり親家庭が増加傾向にあるなか、子どもたちが楽しめるレクリエーションを開催し、放課後の居場所づくりといった安心できるような時間をつくることを目的として活動しています。また、子どもたちに楽しく学べる遊びを通じて、特別な時間を過ごしてもらい、良い思い出になるようなイベントも、市内の企業や団体と連携しながら実施しています。

- おもな活動場所  
北九州市立大学内
- 昨年度参加人数  
17人
- 活動頻度  
・毎週水曜日の  
3～5限に活動  
・月に一度、不定期で  
イベントの開催  
(月によっては一度以上  
のこともある)



## 421Lab.英語で遊ぼうプロジェクト

英語を楽しく学んで、身近に感じるために



こんな人におすすめ!

- 子どもが好きな人
- 英語が好きな人

私たちは、園児との交流を通じて幼児教育について深く学ぶ活動を行っています。園児と一緒に遊びながら、身体を動かしながら、英語教育や異文化理解教育をおこなう活動をしています。学生が主体となって色々なイベントの企画を行っています。具体的には、絵本の読み聞かせ・ゲーム・季節の行事を通した英語学習を行っています。

- おもな活動場所  
若園保育所
- 昨年度参加人数  
7人
- 活動頻度  
月に4時間程度、毎週金曜日など  
毎週金曜日の昼休みにミーティング  
月に1度保育園にて英語の単語を教える活動  
月に1度保育園にて英語とは関係なしの活動(クリスマス会やウォークラリー等)

## 北九州市立大学BBS会

楽しく温かい輪を繋いで、子どもたちの非行予防や更生支援を!



こんな人におすすめ!

- 人に寄り添うボランティアがしたい人、人の役に立ちたい人
- 大学で視野を広げたい人
- 福祉や教育に興味がある人

BBS(Big Brothers and Sisters)とは、非行少年たちへの更生支援や非行予防を全国規模で行う団体です。本プロジェクトはその中の1学域として活動しており、対象者は非行に走った少年少女に限らず、不登校・里子・養護施設の子どもの場合も含まれます。主な活動は、支援対象者やその支援についての勉強会、施設見学、子どもたちと実際に交流をするスポーツフェスティバルの開催などがあります。

- おもな活動場所  
大学、保護観察所、提携施設
- 昨年度参加人数 9人
- 活動頻度  
月に6～8時間程度、毎週木曜日など  
それぞれの履修をもとに学期初めに定例ミーティングの日程を決定します。定例ミーティング以外の活動を別の曜日に行うこともあります。

## 防犯・防災プロジェクト(MATE's)

防犯・防災意識向上の“きっかけ”づくり



- おもな活動場所  
北九州市の小学校・市民センターなど
- 昨年度参加人数 22人
- 活動頻度  
月に6時間程度

こんな人におすすめ!

- 防犯や防災に興味がある人
- 子どもと関わるのが好きな人
- コミュニケーション能力を高めたい人

「北九州を学生の視点から安全・安心なまちにしたい」。そんな思いから、防犯・防災という視点で活動を行っています。メンバー一人ひとりが、他人事ではなく自分事として「まちの安全・安心」について考え、万が一の時、ベストな行動がとれるように、防犯・防災の視点から地域に入り、コミュニティの活性化を図っています。

## KITAO∞『絆』復興応援プロジェクト

北九州市から「食」を通して被災地を元気に!



こんな人におすすめ!

- 新しいことを始めるのが好きな人!
- 食べること・作ることが好きな人!
- 被災地訪問や災害支援に興味がある人!

私たちは主に2つの活動を行っています!一つ目は「絆焼うどん」です。地域のお祭りやイベントに参加して、岩手県釜石市産のイカと小倉発祥の焼うどんを掛け合わせた「絆焼うどん」を焼いて販売し、その一部を義援金として寄付しています。二つ目は「そばの商品開発や販売拡大」です。九州豪雨の被災地である朝倉市のそば(蕎麦)を使った商品を考えたり、北九州で販売できる場所を探しています。

- おもな活動場所  
北九州市、大学、朝倉市
- 昨年度参加人数 15人
- 活動頻度  
毎週金曜日など



## 国際交流プロジェクト FIVA

国際交流による地域貢献

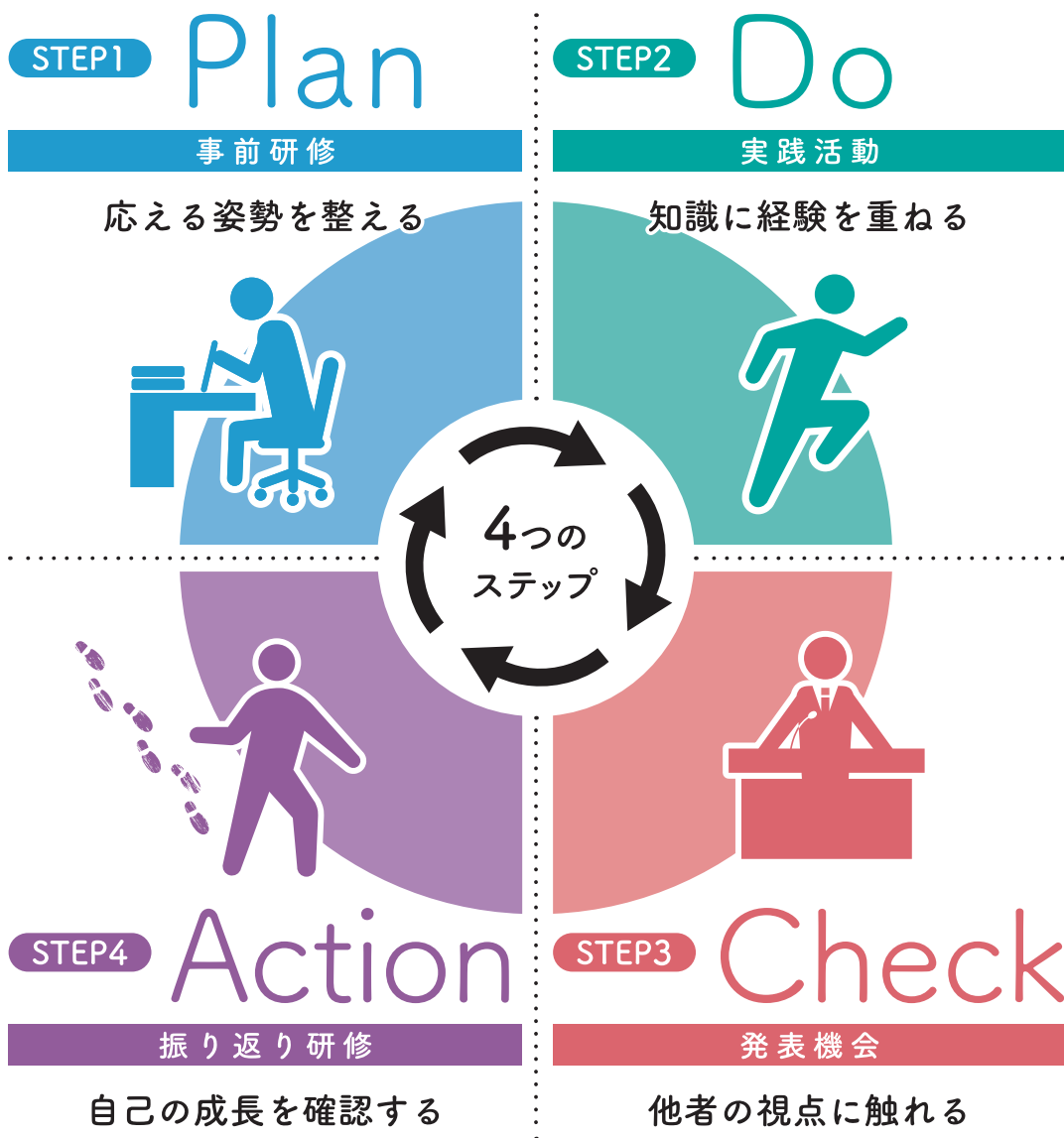


こんな人におすすめ!

- 留学生と話をしてみたい人
- イベントの企画や運営をしてみたい人

私たちは、北九州YMCA日本語学院の留学生と日本語で、北九州国際技術協力協会(KITA)の外国人技術研修員さんと月に1回程度英語で交流し、地域とつながり合う国際交流活動の企画・運営を行っています。同じ北九州で暮らしながらも、接する機会の少ない日本の大学生・地域住民・外国人をつなげ、国際交流を通じて北九州を始め、日本の魅力を発信しながら、多文化共生社会の実現に向けた課題改善に取り組んでいます。

- おもな活動場所  
北九州YMCA日本語学院、北九州市内及び近隣地域
- 昨年度参加人数  
43人
- 活動頻度  
月に5～6時間程度、毎週金曜日(月に一度、土日のいずれかにイベントあり)など



## 「何を考えるか」から「何を学びとるか」へ

近年、学習のカタチが変化し、教員が一方に教える講義スタイルから、社会現場での体験活動に主を置いた実習スタイルが増えてきました。421Lab.でも、被災地の復興や自然環境の保全、伝統文化の継承などの実社会にある身近な課題をテーマとして、専門分野を超えて課題解決に向けた連携が進んでいます。

しかしながら、一般的な実習スタイルでは「体験すること」が目的となりがちであり、本来のねらいである「教育」からずれてしまうこともあります。

421Lab.では、「事前研修」、「実践活動」、「発表機会」、「振り返り研修」というPDCAサイクルを回すことで、学生自身が何を学びとるかを考え、確実に成長するプログラムを備えています。地域活動に関わった学生が取り組んだ課題に興味を持ち、卒業後の進路につながったり、活動で達成できなかった部分を自分の課題として向き合ったりしていくことにつながります。

体験するだけで終わるのではなく、学生が「体験を通して学びとる」ことに注力し、学生の成長を応援します。

### ・災害時緊急支援チーム・

災害発生時には行政や社会福祉協議会からのボランティア要請に迅速に応え、災害ボランティアセンター(通称:災害VC)の運営等に携わります。

おもな活動内容 ・年に1度研修を行います

発行 北九州市立大学地域共生教育センター

発行年 2022年3月

協力 プロジェクトに参加いただいている多くの皆さま



**421Lab. メールに登録して最新情報をGET!**  
info421@kitakyu-u.ac.jp